

010808塗料製造業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2022	9	12 ～ 14	塗料製造を行うための仕込作業の過程において、攪拌機に1袋10キロ入りの顔料5袋を順に手作業で投入していたが、その後攪拌槽内で逆さの状態になって発見されたもの。被災者を救助した際には左肩部から先が切断されている状態であった。	162	7	50 ～ 99
2019	6	12 ～ 14	インク製造棟内作業場のコンクリート床で、頭部から出血し、あおむけで卒倒している状態の被災者が発見された。外傷性くも膜下出血、脳挫傷、急性硬膜下血腫と診断され、事故3日後に死亡が確認されたもの。	417	2	10 ～ 29
2007	3	22 ～ 23	被災者は移動槽のエプロンと呼ばれる部分の塗装作業を行うため、脚立を跨ぐ姿勢で下から3段目の踏面（高さ1.35m）に足を置いて立位の姿勢で塗装作業をしていたところ、バランスを崩して床面に墜落した。	371	1	50 ～ 99
2006	12	10 ～ 11	工場内会議室において、会議の準備をしていた被災者は、会議参加者が使用するために壁面に設置されたヘルメットホルダー付近にて転倒し、同ヘルメットホルダー部品が被災者を直撃した。	418	2	100 ～ 299
2006	1	7 ～ 8	エポキシ工場において、エポキシ工場の責任者である被災者は早出し、同工場内で一人で混合機を使用してエッチ材（事務機の天板の端に貼ってある材料）の着色作業を行っていたところ、回転中の同混合機の回転軸に巻き込まれ、身体全体が振り回された。その際、金属製の扉、同混合機のマスト等に足がぶつかり被災した。	162	7	100 ～ 299
		17	印刷インキ製品のピッキング作業において、フォークリフトの爪に挿した			30

2005	9	～	パレット上で、貯蔵ラックにある製品を取り出す作業をしていたところ、	222	1	～
		18	墜落した。			49
2001	2	～	塗料の製造工程において、円筒形・開放型の仕込みタンク(直径135cm、深	162	7	50
		15	さ約110cm、容量1620リットル)に原料を仕込んだのち、攪拌機で原料を混			～
			合していて、タンクに墜落し攪拌機に巻き込まれた。			99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.htmlに戻る。